

協働通信

都留の市民の活動

桂高等学校 放送部顧問の島袋あゆみさんにお話しを伺いました。

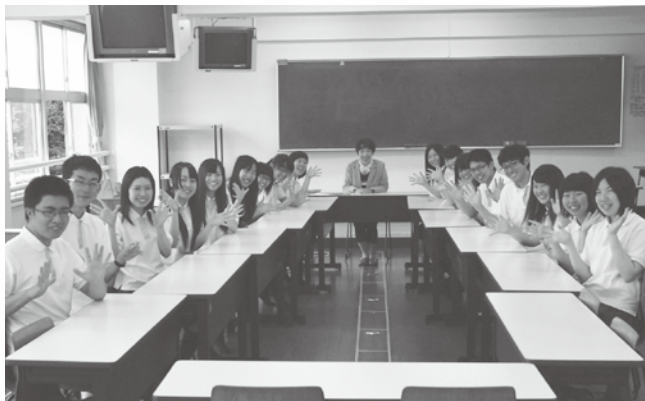
桂高等学校放送部は、7月23日から4日間の日程で開催されるNHK杯全国高校放送コンテストに出場しました。本校からは、昨年から取材させていただいている、市内の盲導犬とそのユーザーの方についてのドキュメンタリー作品を発表しました。

この取材を通して、生徒達は、何か自分たちができることをしたいと考えました。先いうぐいすホールで開催された「ボランティアまつり」では、盲導犬育成の募金などに協力させていただきました。都留市の皆さんは本当に温かい人ばかりで、たくさんの募金が集まりました。声もたくさん掛けていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

生徒達にとって、放送部の3年間は1人1人の人間成長の機会だと考えています。高校生が、まさに、地域に、商店街に向いて地元の方達と接し、たくさんの方を見をして、自分を磨きながら、生きる道を見つける一歩になればと思います。また、地元の高校生だからこそ、まちの人達と同じように、まちのことを知って、自分達ができる地域貢献をして欲しいと思います。そして、将来、まちに帰ってきて欲しいです。

都留のまちの皆さんは本当に素晴らしい方たちばかりで、都留のまちがあつての桂高等学校放送部だと思っています。これからも桂高等学校と桂高等学校放送部をよろしく願います。

▽都留市まちづくり
市民活動支援
センター
都留市上谷2-1-15
都留市役所
新門別館1階
▽開館
月～金(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.
tsuru.yamanashi.jp
☎(46)5236
FAX (46)5237



■桂高等学校放送部部員のみなさん



■島袋あゆみさん

谷村工業高等学校 環境工学科の芦澤孝彦さんにお話しを伺いました。

都留市は、最近、小水力発電の先進地として、「小水力市民発電所・元気くん」がテレビや雑誌に取り上げられ、視察者も大勢いらっしゃっていると伺っています。私は、この元気くんの設置に向けたマイクログ水力発電の実証実験に、平成15年から化学・デザイン科(現:環境工学科)環境化学コースの生徒たちと一緒に関わらせていただきました。市役所前と学校正門脇の家中川に設置された実験用水車のメンテナンスや発電データの測定、発電された電力を利用した人工ルビーの合成実験を行いました。生徒たちは、はじめ、家中川という名前も知らないほど関心が高かったのですが、この取組を通して家中川の歴史や生活文化など、地域のことを知り、ゴミの問題など環境にも興味を持つようになりました。

谷村工業高校の生徒は、もともと地元志向が高く、市内の企業にも多く就職していますが、私は生徒たちに、地域に関わることで関心を持ち、役立つ技術を身につけ、地域に貢献できる人材に育てて欲しいと思っています。

現在、私たちは、都留市エコハウスなどで生徒たちが製作した作品の展示を行ったり、高校生が子どもたちにもつくりの楽しさを伝える「親子ものづくり教室」を実施したりしています。各科・コースの特性を活かした「親子ものづくり教室」はとても人気があります。私は、これからも、地域に様々な形で関わっていければと思っています。

地域のお知らせ

【東桂地域】○第8回都留市ジャパングニアグラススキー大会 大会協力
日程: 8月17日(金)～19日(日) 3日間

【谷村地域】○夢実現ひろば「俳句教室」
日時: 8月28日(火) 13時30分～16時
場所: ふるさと会館
来年の国民文化祭に投句できるよう、初心者学習に挑戦! 問合せ: ☎(43)1497(重原)
○高校生災害ボランティアスクール
日程: 8月29日(水)

【開地地域】○「ふれあい集会」
日時: 8月26日(日) 11:00～
場所: すげのレジャー



■上: 研究を紹介する芦澤孝彦さん

■左: 実験用水車のメンテナンスをする生徒たち